

古墳時代の高島

古墳が造られた時代

最近、大阪の百舌鳥・古市古墳群がユネスコ世界文化遺産登録の推薦候補に決まったことが大きく報道され、古墳・古墳群がとにかく注目されるようになりました。古墳が象徴的に築造された古墳時代は、3世紀後半から7世紀にかけての古代国家形成期にあたります。この間、日本列島には前方後円墳（鍵穴型）と呼ばれる独創的な首長墓が数多く造られます。古墳時代は大きめに前期・中期・後期と分けられ、高島市内では70か所以上の古墳・古墳群が確認されています。

高島に残る古墳

前期では、熊野本古墳群（新旭町熊野本）や妙見山古墳群（今津町日置前・福岡）などが見られます。また、中期になると平ヶ崎王塚古墳（今津町日置前）・田中王塚古墳（安曇川町田中）などの盟主墳や、渡来系集落の可能性が説かれる南市東遺跡（安曇川町末広）

西万木）が現れます。続く後期には、金銅製の副葬品を数多く有した鴨稻荷山古墳（鴨）が出現し、この地が『日本書紀』に登場するオホド王、後の継体天皇の出自に関連した高島郡南部の三尾郷として伝えられています。

この秋、高島市の古墳時代について概観する特別展「古墳時代の高島」と講演会「古代の高島と継体天皇」を藤樹の里文化芸術会館で行ないます。ぜひご参加ください。
 図文化財課
 ☎(32) 4467



現在の鴨稻荷山古墳（北東から）

講演会「古代の高島と継体天皇」

- ▼開催日 11月25日
- ▼時間 13時30分～16時
- ▼場所 藤樹の里文化芸術会館
- ▼内容 報告1「鴨稻荷山古墳と高島」
宮崎雅充（市教育委員会文化財課）
報告2「林ノ腰古墳と近江」
辻川哲朗氏（（公財）県文化財保護協会）
講演「謎の大王 継体天皇」
水谷千秋氏（堺女子短期大学教授）

▼参加費 200円

▼参加申し込み・問い合わせ

高島歴史民俗資料館 ☎(36) 1553 FAX (36) 1554

✉ shiryo@city.takashima.lg.jp

※ 10月4日（水）から受付開始

○秋季特別展

「古墳時代の高島」

【開催期間】

11月17日 金

～ 12月3日 日

【開催場所】

藤樹の里文化芸術会館

【休館日】

月曜日

【開館時間】

9時～16時30分

【料金】

入場無料

編集 雑感

秋と言えば、スポーツや食、芸術など様々ありますが、高島市での「秋」は何だろうと考えた時、一番に目に浮かぶのは木々の紅葉や赤とんぼ、また夕方の川沿いで風に揺れているすすきでした。他にもコスモス畑や湖岸沿いの彼岸花など、生活の中で目に入る「秋」を思い浮かべながら、どの風景にもゆっくりとした時間が流れていることに気づきました。夏の暑さが引いていくにつれて、散策やウォーキングに適した時期になってきます。「秋」を見つけに、ゆっくりと近所を散歩してみるのも良いかもしれませんね。(M)

